

地質ニュース

第503号 1996年7月

口 絵

慶長伏見地震の爪跡	寒川 旭
広域テフラ大阪層群アズキ火山灰の噴出源の決定	鎌田 浩毅
地球深部の運動像をめぐる研究動向(その2)	南雲昭三郎

巻頭エッセイ：“地質”を死語・廃語にしないために	金原 啓司・6
--------------------------------	---------

特集：大阪地域地質センター50周年

センター略史—あいさつにかえて—	吉田 史郎・7
地域に根ざした“地調大阪”(回想記)	
—地方行政機関などとの関連業務において—	宮村 学・9
日本の陶土を訪ねて—その6—丹波立杭焼(兵庫県)	小村 良二・16
有馬—高槻構造線活断層系を調べた日々	寒川 旭・23
大阪層群アズキ火山灰の噴出源の決定	
—九州、近畿、関東にわたる広域テフラの対比—	鎌田 浩毅・32

地球深部の運動像をめぐる研究動向(その2)	南雲昭三郎・39
インドシナの鉱物資源(2) ベトナム北部の工業原料鉱物資源(その1)	
.....	神谷 雅晴・須藤 定久・49

低圧型変成岩での Al_2SiO_5 鉱物(1)

—低圧に三重点を置く相関係と、組成の問題—	奥山(楠瀬)康子・56
-----------------------------	-------------

信楽焼とタヌキの置物	15
—口メモ 南部はナンボ、ベトナム語	55
編集後記	68

表 紙

大阪層群のMa3海成粘土層に挟まれるアズキ火山灰：前期更新世の重要な鍵層の1つとして広く知られる大阪層群のアズキ火山灰は、長い間噴出源が不明であった。近年、アズキ火山灰は、中部九州の猪牟田カルデラから約90万年前に噴出した今市火砕流堆積物と対比される広域テフラであることが判明した。露頭中央の厚さ約50cmの淡茶色の地層がアズキ火山灰。その上下は海成粘土層。大阪府和泉市で1993年11月21日に撮影。詳しくは本文および口絵参照。(写真と文：地質調査所 大阪地域地質センター 鎌田浩毅)

通商産業省 地質調査所
工業技術院

〒305 茨城県つくば市東1-1-3

Tel. 0298-54-3520, Fax. 0298-54-3504

Geological Survey of Japan